

身体的拘束の最小化に向けた取り組み

基本方針 — 5つの柱

01 尊厳の尊重

患者さん一人ひとりの尊厳を守り、安心して療養できる環境を提供します。

02 緊急やむを得ない場合を除き行わない

生命または身体の保護のため、真にやむを得ない場合に限り実施します。

03 多職種での慎重な検討

必要性を慎重に判断し、多職種で検討のうえ実施を決定します。

04 適切な記録と早期解除

実施時は適切に記録し、可能な限り早期の解除に努めます。

05 職員教育と連携の徹底

職員教育と多職種連携を徹底し、尊厳を守る医療を推進します。

病院長表明

淡海ふれあい病院は、患者さん一人ひとりの尊厳を守り、安心して療養できる環境を提供するため、身体的拘束の最小化に病院全体で取り組むことを表明します。

身体的拘束は、患者さんの自由や尊厳に大きな影響を及ぼすため、生命または身体を保護するために緊急やむを得ない場合を除き、行いません。やむを得ず実施する場合も、多職種で検討のうえ、適切な記録と早期解除に努めます。

今後も職員教育と連携を徹底し、患者さんにご家族に寄り添いながら、尊厳を守る医療を推進してまいります。

社会医療法人誠光会

淡海ふれあい病院

病院長 平野正満